

公式観光ガイド 2026

プラダ財団

ミラノ · ~から 19€

https://fondazioneprada.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 公式料金



歴史 & エクスペリエンス

起源と歴史

蒸留所からアートの実験室へ

GOOGLE 4.2 ★★★★☆ 11 226 レビュー

TIQETS 4.0 ★★★★☆ 4 レビュー

ミラノ南部の工業地帯に位置するラルゴ・イサーコは、かつて蒸留所として機能していた広大な敷地です。2015年、オランダの建築家レム・コールハース率いるOMA事務所が、この旧工場を現代アートの殿堂へと変貌させました。面積**19,000**平方メートルという巨大なスケールは、単なる美術館ではなく、都市における文化的実験室としての野心を示しています。ガラスと鋼鉄で構成された温室のような構造は、1862年のロンドン万国博覧会のパナメーション宮殿からインスピレーションを得ており、歴史的な産業遺産と未来的なデザインが鮮やかに融合しています。

財団の設立者であるミウッチャ・プラダとパトリツィオ・ベルテッリは、ファッションブランドを超えた文化的使命を果たすためにこのプロジェクトを推進しました。彼らのビジョンは、芸術、映画、哲学、建築といった異なる分野を一つの空間内で交差させることにありました。ヴェネツィアのCa' Corner della Reginaでの成功を経て、ミラノでの本格的な展開は、より大規模で多角的な文化体験を提供することを目的としています。このサイトは、従来の美術館の枠組みを打破し、訪れる人々に新しい視点をもたらすことを目指しています。

建築的なアプローチにおいて、コールハースは既存の赤いサイロや倉庫をそのまま残しつつ、その周囲に大胆な幾何学的形状を追加しました。この新旧の対比は、ミラノの工業的歴史を尊重しながらも、現代的な解釈を加えることで、独特な景観を生み出しています。特にポディウムと呼ばれる主要展示棟は、透明性と開放感を重視した設計となっており、内部の展示と外部の公園空間が視覚的に連続しています。このような設計思想は、建築物自体が一つのインスタレーションであるかのように感じさせます。

さらに、財団は単なる展示スペースにとどまらず、シネマやバー、イベントホールなど多様な機能を備えています。これは、包括的な文化的プログラムを通じて、芸術を日常生活に根付かせようとする試みの表れです。2012年にパリで開催された「24時間博物館」などの一時的なプロジェクトも含め、財団は常に挑戦的で革新的なアプローチを追求してきました。ミラノのこの施設は、そのような精神の集大成であり、世界中のアーティストや建築愛好家を魅了し続けています。

体験

エントランスを通り抜けると、まず目に入るのは光に満ちた広大な空間です。ガラス張りの屋根から差し込む自然光が、白い壁面や床に柔らかな影を描き出し、訪れる人々を静謐な世界へ誘います。建築家の意図通り、光と影の遊びが空間全体を包み込み、作品鑑賞への準備を整えてくれます。足元には緑豊かな公園が広がり、都会の喧騒から切り離されたような平和な雰囲気が漂っています。ここで深呼吸をすると、心身ともにリラックスできることを実感します。

タワーに登れば、ミラノのパノラマが一望できます。鏡張りの内壁が空や街並みを反射し、現実と虚構の境界を曖昧にする視覚効果は息を呑むほどです。無限の反射によって生み出される錯覚は、訪れる者を哲学的な問いへと導きます。建築そのものが体験の一部となり、単なる観客ではなく、空間の中で自分自身を見つめる存在へと変化させてくれます。この独特な感覚こそが、プラダ財団を訪れる最大の魅力です。



訪問の準備

実用的な情報

住所
イサーコ地区・地下鉄：イゾーラ(M3線)よりトラム9号線またはバス57号線、またはタクシー推奨。

営業時間
火曜日を除く毎日10時〜19時開館。チケット窓口は18時30分に閉まります。

料金
大人19ユーロ。若者やシニア割引あり。{promo}。

所要時間
ポディウム、タワー、公園を落ち着いて巡るには2〜3時間を見込んでください。シネマで映画を見る場合は、さらに時間を確保してください。

写真撮影
建築やインスタレーションの写真撮影は許可され、推奨されています。特定の作品や禁止されているエリアについては、表示看板をご確認ください。

対象客層
建築愛好家や現代アートファンに最適。家族連れでも楽しめますが、一部のインスタレーションは小さなお子様には理解しにくい可能性があります。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

地下鉄
: ロディ TIBB — 6 min à pied
ミラノ・カドルナ (14 min) · ミラノ・レプブリカーナ (16 min)

バス
: トレント広場 — 3 min à pied
ミラノ・カドルナ (22 min) · ミラノ・レプブリカーナ (24 min)

自動車
ミラノ・カドルナ (15 min) · ミラノ・レプブリカーナ (16 min)

自転車
ミラノ・カドルナ (18 min) · ミラノ・レプブリカーナ (21 min)

LOCALISATION

Où se trouve プラダ財団 ?



📍 L.go Isarco, 2 — 20139 ミラノ

🌐 45°26.658′ N, 9°12.318′ E



組織

ポディウムからタワーまでの動線

ポディウム（地上階）

メインの展示棟であるポディウムは、複数のホールに分かれています。ここでは大型のインスタレーションや絵画、彫刻などが展示され、広々とした空間で作品を楽しむことができます。入口付近にはカフェやショップもあり、最初の印象を形作る重要なエリアです。

タワー（展望塔）

高さ約40メートルの円筒形の塔は、内部が鏡張りで覆われています。エレベーターで最上階まで登ると、ミラノの街並みと空が反射し、幻想的な景色が広がります。建築的な特異性と視覚的な驚きが詰まった空間です。

シネマと公園

ポディウムとは別に独立した建物がシネマであり、映画上映や講演会が行われます。敷地内の公園は無料で入場でき、赤いサイロや温室のような建築を遠くから眺めることができます。建築を異なる角度から観察するのに最適な場所です。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

エレベーターとスロープを通じて、建物とパークに完全にアクセス可能。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

家族連れにも対応していますが、歩行には快適な靴をご用意ください。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選 択

見逃せない建築とインスタレーション

01

Torre

タワーの鏡張り内壁

レム・コールハース設計のタワーは、内部全体が鏡で覆われています。これにより、訪れる人の姿や外の景色が無限に反射し、視覚的な錯覚を生み出します。夕暮れ時の光の変化は特に美しく、写真撮影スポットとしても人気です。

> 💡 この鏡張りは、訪れる人が自分自身と向き合うためのメタファーとして設計されました。

02

Podium

ポディウムのガラス温室

1862年のロンドン万国博覧会からインスピレーションを得たガラスと鋼鉄の構造は、自然光を取り入れた明るい展示空間を提供します。植物が生い茂る中を歩きながら、建築と自然の調和を感じることができます。

> 💡 この構造は、産業用の温室を再解釈したもので、歴史的な文脈を現代的に表現しています。

03

Park

赤いサイロ群

旧蒸留所の名残である赤いサイロは、新しい建築と対照的な存在感を発揮します。公園内から眺めるこれらの円筒形の構造は、工業遺産の美しさを象徴しており、建築ファンには必見です。

> 💡 コールハースはこれらの既存構造物を保存し、新たなコンテキストの中に配置することで、時間の経過を可視化しました。

04

Podium Entrance

大理石のエレベーターホール

ポディウムへの入口にあるエレベーターホールは、高級感あふれる大理石で装飾されています。この空間は、訪れる者に心理的な準備を整え、次の体験へと導く重要な役割を果たしています。

> 💡 多くの訪問者が、このエレベーターの質感と音響効果を高く評価しています。

05

公式サイト参照 Podium Halls

現在の特別展

ポディウムの各ホールでは、定期的に変わる現代アートの展覧会が開催されます。国際的に著名なアーティストの作品に触れることができ、最先端の芸術動向を把握するのに役立ちます。

> 💡 展覧会は建築空間と密接に関連して設計されており、作品の提示方法にも工夫が凝らされています。

06

Park

Prada Bar

公園内に位置するバーは、建築を眺めながらコーヒーやドリンクを楽しむのに最適です。静かな雰囲気の中で、建築批評的な視点から施設を観察することができます。

> 💡 ここでの休憩は、長い訪問後のリフレッシュだけでなく、建築理解を深める機会でもあります。

07

Cinema

シネマのマルチファンクション性

映画上映だけでなく、哲学会議や建築イベントも行われるシネマは、財団の多角的な文化活動を支えています。学際的な交流の場として機能し、芸術の社会的な役割を問うています。

> 💡 ミウッチャ・プラダ自身が企画に関与することが多く、独自のキュレーションが見られます。

08

Exterior

夜間の照明演出

夕方以降、建物全体がライトアップされると、昼間とは全く異なる表情を見せます。ガラス面の反射と人工照明の組み合わせは、ドラマチックな夜景を作り出します。

> 💡 夜間の訪問は混雑を避けたい方におすすめですが、チケットの有効時間を確認してください。

アドバイス

快適な訪問のためのプロTips

TIMING

開場直後の10時頃に行くと、朝日がガラス面に反射する美しい光景を楽しめます。また、混雑を避けてスムーズに入館できます。

BILLET

週末はすぐに予約が埋まるため、少なくとも数日前にオンラインでチケットを購入することをお勧めします。完全アクセスチケットを選ぶと、すべてのエリアを巡れます。

PARCOURS

まずはポディウムの展示を見てから、タワーに登り、最後に公園で休憩するのが理想的な動線です。体力を温存しましょう。

PHOTO

タワーの最上階では、夕暮れ時に空の色が変化するため、写真撮影に最適です。三脚の使用が可能かどうか事前に確認してください。

PAUSE

Prada Barでコーヒーを飲みながら、建築の外観を眺める時間を設けましょう。視点を外側に向けてみることで、新しい発見があります。

ENFANTS

子供連れでも楽しめますが、一部のインスタレーションは抽象的なので、年齢に応じた説明が必要です。公園での遊び時間は十分に確保してください。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドは英語、フランス語、スペイン語に対応しています。建築的な背景を知るためには非常に有用ですので、利用することをお勧めします。

CONFORT

敷地面積が広いため、歩行に適した靴を履いてください。季節によっては、公園での滞在時間が長くなるため、防寒具や日よけも必要かもしれません。



よくある質問

よくある質問

プラダ財団のチケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、予約は強く推奨されます。特に週末は、5日前から枠が埋まることがあります。これにより、待ち時間なしでスムーズに入場でき、希望する訪問日を保証します。

チケットは返金対象ですか？

キャンセルは、予定された訪問日の24時間前まで無料です。購入時にチケット固有の条件を確認し、柔軟な返金ポリシーを再確認して、あなたのスケジュールを安全に確保してください。

現在プロモーションはありますか？

当サイトでは割引オファーが利用可能な場合があります。公式チケットの-5%などです。プラダ財団に関連する現在の料金や季節限定のプロモーションについては、予約ページをご確認ください。

チケットはすべてのエリアに含まれていますか？

標準チケットはポディウムとタワーの主要展示へのアクセスが含まれます。予約時にシネマや特定のインスタレーションへのアクセスが含まれているか、追加料金が必要かどうかをご確認ください。

プラダ財団で現在開催されている展覧会は？

財団は定期的に変わる臨時および常設の展覧会を開催しています。ポディウムとタワーで紹介されているアーティストの最新リストについては、公式サイトまたは当ページをご覧ください。これらのスペースはレム・コールハースによって設計され、現代美術の重要な作品を収容しています。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

ヴェネツィアとの二拠点戦略

プラダ財団はミラノだけでなく、ヴェネツィアの**Ca' Corner della Regina**にも拠点を置いています。18世紀のパレスを活用したヴェネツィアサイトは、ミラノの近代的な建築とは対照的に、歴史的な文脈の中で現代アートを提示しています。

24時間博物館の試み

2012年、パリのポンピドゥーセンター前で**Francesco Vezzoli**による「24h Museum」が開催されました。わずか一日限りの博物館は、伝統的な美術館の概念に挑む実験的なプロジェクトでした。

OMAの建築哲学

レム・コールハース率いる**OMA**は、都市計画と建築の関係を再定義してきました。プラダ財団のプロジェクトは、工業遺跡を文化的ハブへと転換する彼の代表作の一つです。

映画基金の支援

財団は**Film Fund**を通じて、世界的な映画作家をサポートしています。シネマでの上映プログラムは、商業映画だけでなく、実験的な作品も多く取り上げています。

博物館周辺

プラダ財団周辺は、かつて工業地域だったイゾーラ地区がクリエイティブハブへと再生されています。見学後は、近隣の改装されたスタジオやギャラリーを巡るのもおすすめです。ランチやアペリティボには、ヴィア・トルトーナ方面にあるモダンなレストランや、公園内のテラス席を利用してください。また、徒歩圏内にあるセーゾ公園では、緑の中でゆっくり休憩できます。文化的な興味がある方は、ミラノ三年展美術館も近くにありますので、合わせて訪れると良いでしょう。交通アクセスは地下鉄M3線のイゾーラ駅からです。

プラダ財団は、単なる美術館訪問ではありません。それは建築、芸術、そして自分自身との対話の旅です。レム・コールハースの天才的な設計が創り出した空間の中で、あなたは日常の常識を超えた体験を手に入れるでしょう。ミラノの隠れた宝石として、ぜひ一度足を運んでみてください。